

しろくまロマ と カシカン

うき ゆうこ





あるひのことです。
しろくまのロマはいえにいました。

そとはきらきらひかるゆきがたくさん
ふっていました。
「ゆきがふっているから、きょうはお
うちにいよう」



コンコンコン。
ドアをノックするおとがしました。
「はーい。だれですか？」
ロマがドアを開けると、かいがたって
いました。
「ロマさん、こんにちは。おはなし
あってきたの」
と、かいがいいました。



ロマはかいにおちゃをだしました。

「わたしはかいのカンカン。まえにい
しをのみこんでしまって、とれなくて
いたいの。ねえ、ロマさん、とれるい
いほうほうはないかしら？」
と、カンカンがききました。

「うーん。それはたいへんだね。なん
とかしなきゃ」

ロマはいっしうけんめいかんがえま
した。



そしていいかんがえをおもいつきました。

パラパラパラ。

ロマはカンカンにこしょうをふりかけました。

「ふふふふえつくしょ——ん」
カンカンのおおきなくしゃみといっしょに、つまっていたいしがポンッとでてきました。



いしはとてもきれいなしんじゅになつていきました。

「わーい。わーい。すっきりした。口マさんありがとう。おれいにそのしんじゅをあげるね。」

カンカンはカスタネットのように、かいをカンカンならしながらよろこびました。

「わあ、たからものにするね」
口マもしんじゅをとてもきにいりました。



つぎのひ、ロマはともだちのルンドの
いえにあそびにいきました。
「きのうほしがおっこちてきて、やね
にあながあいちゃったー」
ルンドはこまったようすでいいました。
あなからたくさんゆきがふってきま
す。

ロマはいいかんがえをおもいつきました。



「ルンドはうみにもぐってサカナをと
るのがじょうずだから、いつもぼくや
ほかのしろくまにサカナをわけてくれ
るよね。だからいつものおれいがした
いんだ。これをうってやねをなおして」

そういうて、ロマはたからもののしん
じゅをルンドにあげました。



つぎのひのあさです。

コンコンコン。
ドアをノックするおとがきこえました。

コンコンコン。
コンコンコン、コンコンコン。

たくさんノックするおとがしました。



ロマがドアをあけると、たくさんのか
いがいえにはいってきました。

「カンカンにきいたの。ロマさんがい
しをだしてくれるってー」

「わたしもカンカンにきいたの一」

「ぼくもカンカンにきいたんだよー」

かいたちはくちぐちにいいました。

「わかった。みんないちれつにならん
でね」

パラパラパラ、パラパラパラ。

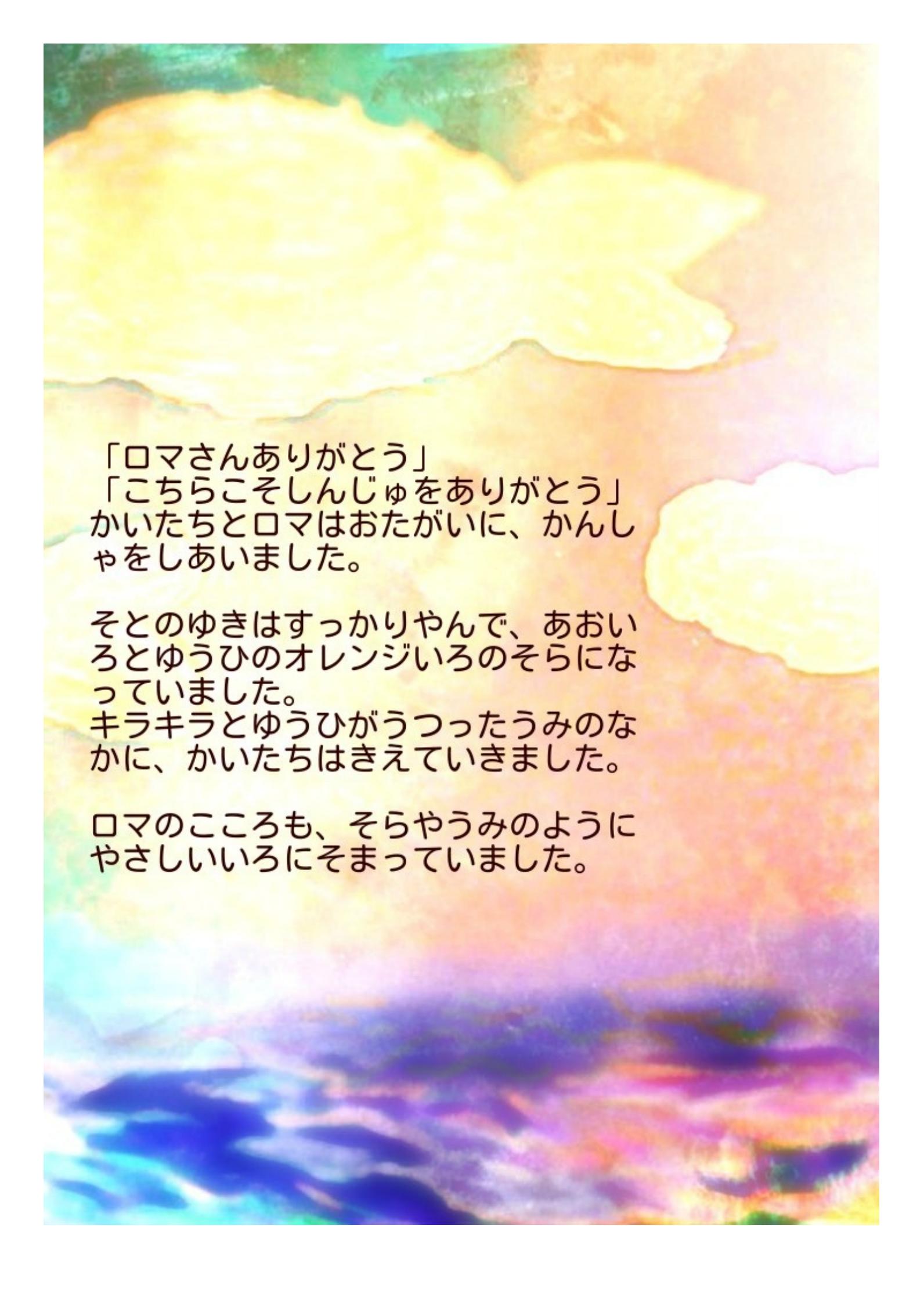
ロマはかいたちに、こしょうをふりか
けました。



「ふふふふえくっしょー——ん」
ポン、ポン、ポン。
ロマがこしょうをふりかけると、かい
たちはいろどりのしんじゅをくし
ゃみといっしょにだしました。

「わーいわーい。つまっていたいしが
とれたよ。ロマさんありがとう。おれ
いにそのしんじゅをあげるね」
よろこびながら、かいたちはいいまし
た。

「わあ、きれいなしんじゅだね。たか
らものにするね」
ロマはステキなたからものをてにいれ
ました。



「ロマさんありがとう」
「こちらこそしんじゅをありがとうございます」
かいたちとロマはおたがいに、かんしゃをしあいました。

そとのゆきはすっかりやんで、あおい
ろとゆうひのオレンジいろのそらにな
っていました。

キラキラとゆうひがうつったうみのな
かに、かいたちはきえていきました。

ロマのこころも、そらやうみのよう
にやさしいいろにそまっていました。